

平成 26 年 1 月 22 日

各 位

会社名 鈴木金属工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 升 光 法 行
(コード番号 5657 東証第二部)
問合せ先 経営企画部長 岡 田 章
(TEL. 047-476-3111)

タイの高級ばね用設備の営業運転開始と
英国における異形鋼線事業会社買収について

当社は、伸長するアジアの自動車市場向けの製造基盤を固めるべく、2011年春にタイ・スペシャル・ワイヤ社（T S W）を子会社化し、高級ばね用鋼線設備の増強工事（習志野工場からの伸線機移設、渦流探傷装置（E C T）増設および伸線機、パテンティング炉の新設等）を順次行ってきましたが、昨年中に設備の設置・試運転を終え、年初から本格的な営業運転を開始しました。途中、大洪水に見舞われましたが、社員の頑張りにより、ほぼ当初工期に沿った生産体制が出来上がりました。これにより、T S Wのばね用鋼線の生産は、月300トン増の1400トン体制となります。早期に設備投資効果を発揮し、アジアにおける二輪向けに加え、四輪向け販売を拡大いたします。

あわせて当社は、子会社のSuzuki Garphyttan AB（S G）による、英国異形鋼線メーカー KTS Wire Limited（K T S）の買収・子会社化を決定しました。K T Sは、英国ウエストヨークシャー州リーズ市に拠点を置く異形鋼線メーカーで、売上げ規模は年間約10億円、自動車用部品やベッド、家電、家庭用品等幅広い用途に向けた特色ある製品を製造し、販売先も欧州・アフリカ・中近東、北米と広範囲にわたります。当社、S Gともに異形鋼線の製造・販売を行っており、今後は技術面での3社のシナジー効果や、S GとK T Sは同じ欧州に製造拠点を有することから、お互いの強みを活かした製造面での分担、販売面ではS G・K T S一体となったマーケティング・拡販が期待できます。

当社グループの主力は自動車向けの鋼線（オイルテンパー線、ピアノ線等）ですが、自動車分野だけでなく、他分野向けのハイエンド製品の拡充も目指してまいります。

なお、K T Sの概要は以下のとおりです。

- (1) 名 称 KTS Wire Limited
- (2) 所 在 地 英国ウエストヨークシャー州リーズ市
- (3) 代 表 者 Stephen David Longbottom
- (4) 事業内容 異形鋼線の製造及び販売
- (5) 従業員数 50名
- (6) 設立年月 2008年11月（創業1953年）
- (7) 株 主 Frontline Investment Opportunities LLP 60%
その他マネジメントメンバー 40%
- (8) 売 上 高 約10億円（2012年度実績）

以上